

# 品川支部

令和二年11月1日発行  
 〒141-0022 品川区東五反田1-8-5  
 TEL 3442-7075

## 11月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## そろそろ Go To おちば 紅葉も綺麗ですよ

秋の大祭がそれぞれの思いの中、陽気に勤められました  
 世間では Goto キャンペーンで大部観光地に人が戻ってきました  
 おちばでも、団体での参拝が出来るようになり、いかにも待ちわび  
 ていたという感じの方達の参拝の姿を多数お見受けする事がで  
 きました  
 もうかれこれ、半年もお帰りになれないという方もおいでとは思  
 いますが、そろそろGoto「おちば」は如何でしょうか  
 今からはおちばが一番綺麗な季節になります 近くにはもみじの  
 名所もズラリ・・・ どなたか初めての方でもお誘いしますか



### ☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会  
十一月九日(月)午後六時〜  
櫻京分教会にて
- ・支部例会十一月三十日(二頁参照)

成東分教会  
 開催の有無は二十一日までに決定します  
 (詳細は二頁参照)

・教区ひのきしん  
 ・神名流し  
 ・在宅センター  
 ひのきしん

### ☆教務支庁からのお知らせ

- ・青年会から  
 永年親しんで参りました月刊誌(現在二十万部発行しております)「大望」が来年三月号をもって終刊になります
- ・教区にいがけりーフレット  
 中断していましたが今月四日から再開予定です

今月も  
 中止です

### 立教百八十三年 十月二十六日のおちば

先月二十六日は立教百八十三年の秋季大祭が本部で執り行われました  
 天理の商店街は少しづつ賑わいを取り戻してはいますが、例年からすると半分程度と言うのが今年の風景でした。  
 神殿の方では、中庭、南境内には一般参拝者の為のイス席が用意され、知らない人同士は蜜を避けるよう、間隔をあけて着席するなど、十分に感染対策を考慮された形を取られながらの祭典でした  
 又、あちこちで久しぶりにおちばで会えたという嬉しそうなグループが見られ毎月、当たり前の様におちばに帰ることが出来た事が、本当に有難いことと思える光景でありました。

#### \*先月号の誤字、誤りの訂正

先月十月号で新教会長の岡部先生の紹介をこのコーナーで行いましたが、先生の名前が義徳(よしのり)と表記されておりましたが正しくは善徳であります。又、「この家」とありましたところは「布教の家」の誤記で大変失礼いたしました。  
 今回三ページで、本人の紹介文を掲載させて頂きましたので、ご覧下さい。

拠点教会	1日号	8・15日 合併号	22日号
日本橋	郵送	郵送	郵送
本荏	郵送	郵送	郵送
南泰	郵送	郵送	郵送
三ツ木	郵送	郵送	郵送
水豊田	郵送	郵送	郵送

今月から東京教区内では、各支部の地域事情に合わせて手配り再開可能になりました  
 品川支部は今年いっぱいは見合わせる予定です

#### 時報手配り十一月予定

# 品川支部例会

## 令和二年十一月三十日 (月)

### 11時開始

## 場所 成東分教会

(品川区大崎四丁目二の五十二)

## 内容 座りづとめ よろづよ八首 十一下目

### 東京教区、支部連絡事項

### 当該三本教会長挨拶

### 昼食の用意頂いてます

### \*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



## 新任教会長挨拶



この度、齋藤衛彦先生の後任で日徳實分教会長(旧日倉分教会)を勤めさせて頂く事になりました。岡部喜徳と申します。年齢は25歳で日本橋部内としては初の平成生まれの教会長とさせて頂きました。

若輩者ではございますが、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜りながら、一日も早く支部活動の力にもなれるよう勤めさせて頂きたいと思っております。

去る九月二十五日のお運びにより、当教会は所属を日本橋大教會直属から、報徳分教会部内の日徳分教会部内へと変更致しました。

それに伴い名称を「日倉分教会」から「日徳實分教会」(にっとうじつぶん)に改称致しました。

教会の土地も建物も同じではございますが、新たな名称、新たな所属で教会内容の充実に

向けて、勇んで勤めさせて頂く所存でございます。

それでは、初の支部参加ですので自己紹介させて頂きます。

私は大田区上池台にありまして、日徳分教会に次男として生まれしました。日徳分教会は元々事情教会でしたが、私の生まれる三年程前に大教会住み込みをしていた父が会長を受け、両親共に教會復興に努めて参りました。

父は毎日上級会長様と共に在りし、子供の私には知らない人達が入り込んでくるのを窮屈に思ふ事もありましたが、両親の熱心なおたすけに感化されながら、一方で子供たちへの暖かい親心の中で育ちました。

高校はおちばの天理教学校学園高校に入學し、マーチングバンド部で、三年間楽しく有意義な高校生活を送らせて頂きました。

今でも音楽は私の趣味にもなっております。

高校卒業後は、専修科へ入学いたしました。専修科では基本教理の勉強や実践をさせて頂きました。少しずつお道の勉強をする中に親々のおたすけの姿がフラッシュバックし、教えと親の姿が重なり、上級教会や親が輝いて見えてきました。

そして自分も親々のようにお道を通して頂きたいと尊敬の念が湧くと同時に、お道を通る心が定まりました。

これが私の信仰の元一日です。

それから後はお礼づとめとして詰所で三年間伏せ込み、その後には布教の家東京寮にて一年間に在りて没頭いたしました。

布教の家の後は上級報徳分教会に青年として半年間つとめさせて頂きました。

その住み込み中に当教会の後継の話が進みはじめ、私は教会長として教会をお預かりする決心を固めました。

今年一月からは三年間と仕切つて日本橋大教会青年

としてつとめさせて頂いており、お運びの後も教会長兼大教会青年としてつとめさせて頂いております。

これからの自分の行く道に不安に思ふ事もありませんが、とにかく勇んで通らせて頂きたいと思っております。

品川支部長先生をはじめ諸先生方、教友の皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、長年日倉分教会長を勤められた齋藤衛彦先生には、心より感謝申し上げます。

日徳實分教会長

岡部喜徳

